



早稲田大学校友会宮崎県支部広報

ご挨拶

総長 鎌田 薫



校友会宮崎県支部の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から朽木充

嗣支部長を中心に校友会の発展にご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、このたびは支部広報誌『杜へ』ご創刊とのこと、誠にめでとうございます。本広報誌を通じて貴支部活動が、ますます多くの校友の目にするところとなり、更なるご発展の契機となりますことを祈念いたしております。

私は、昨年の11月5日に第16代の早稲田大学総長・早稲田大学校友会会長に就任いたしました。誰もがご承知の大隈重信から始まる早稲田大学の輝かしい歴史と伝統を引き継ぎながら、より一層発展させなければならぬ責任の重さをひしひしと感じております。

今日、私たちは温暖化や経済格差など地球規模で解決されるべき数々の難問に直面しており、また、国際社会における日本の地位の低下が強く懸念されています。こうした困難な時代であればこそ、時の権力や目先の利益に左右されることなく、真理を探究し続けてきた大学が新たな時代を切り拓くために積極的な役割を果たすことが必要とされています。

かねてより、私は、本来、大学は常に最高、最先端の学術水準を目指して研究し、最新の研究成果を踏まえて学生を教育することが使命である。と考えております。学問は常に進化し、新たな分野への展開がおこります。大隈重信は「停滞は死滅である」と言い

ましたが、正に大学人として常に肝に銘じておかなければならない言葉だと思います。常に最新の学問研究を行い、また、最高の人間教育を行うことを使命とする大学は、その活動も常に不断で前向きのものであらねばなりません。

私は、総長選挙の機会に、校友、教職員、学生の皆様に対して、「持続可能な改革」ということを訴えて参りました。現在の地位や名声に安住することなく、大学を取り巻く高等教育政策の動向や経済情勢などを見据え、次代の早稲田大学を、皆様がより一層誇らしく思える大学にしていく事こそが、私の責務であると自覚しております。

早稲田大学は、「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を建学の理念として掲げ、創立当初から、時代の牽引車として大きな役割を果たしてきました。これからの建学の理念を現代社会にふさわしい形で具現化し、



より一層の推進を図らなければならぬと考えております。そこで、これからも広く社会の発展に資するため「社会に貢献する知の具現」と「グローバル社会に生きる人材の養成」を大きなテーマとして掲げ、世界の研究教育拠点としての「WASEDA」の実現に向けた諸政策に取り組んでいく所存でございます。

平成 23 年度 早稲田大学校友会宮崎県支部総会

と き 7月16日(土)
 ないよう 県支部総会 14:00～15:00
 講演 15:30～17:30
 ◆総長 鎌田 薫氏 「早稲田大学の明日を考える」
 ◆教授 平山 廉氏 「日本で見つかった恐竜」
 交流会 西館1F「はな花」 18:00～19:40
 会費 校友 6,000円 一般 5,000円
 ところ 宮崎観光ホテル
 宮崎市松山 1-1-1 TEL.0985-27-1212
 【問合せ先】090-8392-3471 (幹事 村社)



会報「杜へ」創刊にあたり

県支部長 朽木 充嗣

東日本大震災での犠牲者のご冥福をお祈りし、全ての被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
会報の創刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。

宮崎県支部の会報がようやく創刊する事になりました。宮崎県稲門会の発足以来長い歴史の中において、新しい1頁を歩みだします。

会員の正確な伝達方法を確立する上で名簿の整理は不可欠でした。今回、会報の発行と支部会費の徴収を核にして、名簿の正確さそして校友間のネットワークを充実させたいと考えております。

宮崎県内には約800名の校友が在住中となっています。しかし宮崎において早稲田の力を発揮している状況ではありません。

現在、支部にある校旗は昭和30年に寄贈されたものです。早稲田大学と共に、宮崎県支部校友会の精神の重みをひしひしと感じています。私達は、この伝統に甘んじる事なく次への世代に伝えるものがあります。

2010年校友会の百二五周年事業

が開催されました。現在鎌田薫新学長の下で、大学のキャンパスは大きな変革を進めています。早稲田大学はグローバル化とローカル化を推進し、世界に発信をしています。世界中の早稲田マンが、今こそ力を発揮する時だと思います。

会報の大きな目的は、宮崎県内の校友の更なる交流促進です。早稲田大学と校友との情報の共有。そして宮崎からの情報発信です。ペーパーレスの時代に今更ながら、会報を創刊するのは時代遅れと言われるかもしれませんが、あえて会報をここに早稲田の精神をここに集約する事から始めたいと考えています。

今、日本は千年に一度の国難に遭遇しています。この様な時だからこそローカルが力を出して宮崎を元気にし、そして日本を元気にしていきたいと思います。

青春時代を早稲田の杜で過ごした者がこの会報を通じてまた一つになり、「絆」を深めて更に「早稲田の杜へ」元気を発信しましょう。



土地の有効活用をお考えのあなたに、高い入居率を誇る

しあわせ賃貸ネットワーク
Y&M ユーミーマンション

をご提案いたします。

平均入居率 98%

地域社会に貢献する企画提案型企業

神崎建設工業(株)

代表取締役社長 神崎 義世 (昭和39年 政経卒)

- 本社 〒880-0832 宮崎市稗原町63番地1 TEL(0985)25-1233(代) FAX(0985)25-1240
URL <http://www.kanzaki.net> mail info@kanzaki.net
- 延岡営業所 TEL(0982)33-0858 FAX(0982)33-0877
- 日南営業所 TEL(0987)55-0019 FAX(0987)55-0020 ■関連会社 ㈱カンエイ (不動産・賃貸管理)



(宮崎市 Conforto Grande)

UEMATSU

www.uematsu-grp.co.jp

Since 1884

植松商事株式会社
UEMATSU SHOJI CO.,LTD.

〒880-0001 宮崎市橘通西4-2-30
4-2-30, Tachibana st. Nishi Miyazaki-city 880-0001, Japan
TEL.0985-22-5100(代) / FAX.0985-22-5188

植松エネルギー株式会社
UEMATSU ENERGY CO.,LTD.

株式会社ウエマツ
UEMATSU CO.,LTD.

植松産業株式会社
UEMATSU SANGYOU CO.,LTD.

ホテルJALシティ宮崎
HOTEL JAL CITY MIYAZAKI



随筆

私と早稲田

森 松平



私は「杉の子」という料理屋の主人である。早大には調理学部はないにもかかわらず、早大卒の料理屋さんには全国に結構あるから不思議な話である。私は昭和33年度第一文学部心理学科に入学した。四年の夏、中退して板前修業の道に入った。後悔はしていないが、40歳代の頃まで「卒業するんだ」と復学の夢に悩まされた。私の下宿先は戸山町13番地で大学と至近距離にあった。水戸出身の柳内家に寄宿し、ここで初めて納豆の味を憶えた。昭和55年頃、大阪屋ビル三階にあった杉の子に柳内のばあちゃんが訪ねてきて「よかったね、自分の店が持ってたんだから中退して良かったわ、卒業してたら、こんなになるとは限らないわよ」と私を励ましてくれた。

これでやっと悪夢から解放されることとなった。全国の食べもの屋に呼びかけ、平成12年に「食べ物稲門会」を設立し、毎年全国各地で総会を開催し、情報交換、親睦をはかっている。新宿「くらわんか」(安田校友)の折、講師の谷澤健一氏(元中日)が「早大野球

部の集まりにおいて、自己紹介は卒業年次ではなく、必ず入学年次です」と語り、満場爆笑となった。

いろいろあって、私は昭和56年推薦校友となった。ある人いわく「君は井伏鱒二先生の一年先輩だ」、校友会名簿を見ると、井伏大先輩は昭和57年の推薦校友であることを確認した次第。この頃は早大百周年記念募金の最中で、実行委員長の木一先生との出会いがあり、後年、長男耕一郎(昭和62年、政治)の就職相談のご縁を持った。長女省子(平成元年一文西洋史)も宮崎西高から進学し、無事、卒業してきて有難うと、感謝している。私の推薦校友の件は植松熊太郎さん、蛭原一成さん等の尽力があればこそであった。勿論、寄附もし、後年百二十五周年記念募金に参加するきっかけともなった。

記念ポトル「杜へ」も生まれ、一万本あまりが完売した。寄附する喜びは早稲田が教えてくれた。歴代総長との出会は宮崎県支部総会であり、西原、奥島総長との思い出が深い。両総長に仕えた口元周策氏(元校友会事務局長)との交流は長年にわたり、酒友から生涯の友となった。食べ物稲門会の会長から本部づけ商議員に推薦をうけ、宿毛イン早稲田の講師に呼ばれ「私の料理人生」と題してカツオの話を中心に語る機会も与えてくれた。今年四月には熱く「牛深ハンヤ祭り」に参加し、

牛深生まれの口元さんとハンヤ節の由来について語りあえた。ワセダは永遠に私の心の故郷である。



内航貨物取次業・船舶代理店業
業歴55年 木材・チップ・一般貨物の国内海上輸送

河宗海運有限会社

代表取締役 河野 秀昭
(1974年 商学部卒)

〒887-0001 日南市油津4-10-8
0987-23-2556 (代表)



冬虫夏草酒
金霧島

すっきりと、ふくよかな味わい。

古来より健康に役立つと珍重されてきた「冬虫夏草」と、美味しさを極めた本格焼酎「黒霧島」の幸せな出会いから誕生した「金霧島」。よりマイルドな口当たりと「冬虫夏草」由来の深いコクが、お楽しみいただけます。美味しく飲んで、すこやかに。



霧島酒造株式会社

霧島通販蔵 www.kirishima-product.com 通話料無料 ☎ 0800-123-1574 受付時間10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
◎お酒は20歳になってから。◎飲酒運転は法律で禁じられています。

会員現況 I

私の決意

一歩踏み出した私

高城 晃



先日、福田さんとS M Iの勉強会と一緒に、5月に現在の五階建のビル

(昭和48年築)を取り壊して神崎建設工業(株)のユーミーマンション(八階建)を建設すると話をしましたら、その思いを書いてみませんかということでした。

店は創業昭和4年で私は三代目になります。業種は精米、米穀、酒、たばこ、塩、精麦、製粉と製造、卸、小売販売と政府の免許がないと出来ない商売で、昭和の時代まで良い商売だったと思います。ところが平成になり、規制緩和でどこでも販売できるようになり、経営がむずかしくなりました。後継者も作らず六十五才になりましたので、平成

21年7月で閉店しました。

私は二十代の時から不動産には興味を持っていました。二十九才の時、現在のビルの裏に敷地370坪を購入しました。現在のビルの場所は、二階木造、敷地270坪でしたが、道路拡張で持っていかれ、半分になりました。そこに二十八才(昭和47年)の時、五階建の貸ビル(一階は店舗)を建設しました。

ところが、政治、経済、流通、交通の状況の変化で、空室が多くなりました。そこで私の回りの人に八階建のマンション建築の話をした所、今は冒險しない方がいいと後ろ向きな人ばかりで、前向きな人はいません。私の歳が六十六才、過大な設備投資を心配したのだと思います。自分のやる気を維持するのが大変でした。自分に向かって前向きな言葉で話しかけ、同時に運動(スポーツジム・フィオーレ、ウォーキング)をして、適切な食事をとるよ

うに心がけました。やる気だけでなく、こう

いった心と体のバランスをとったことで、前向きな気持ちと健康を維持できたと思います。新しい事業を始めるのですから、それは不安と恐怖で押しつぶされそうな毎日ですが、少しでも可能性があるなら自分の強み、自分を信じて、それに賭けてみよう。そう思ったわけでありませう。

女子会のススメ

今村 美穂



去年の春、一人娘が東京の大学に進学しました。最初は、「子離れできるだろうか」と自分自身、心配しましたが、家庭より仕事が好きな性分もあり、毎日のお弁当作りや受験の心配から開放されて「子育て終了!

の日々を楽しんでいます。

娘の方は、第一志望の大学でなかったこともあったのでしよう、当初は気分が落ち込んでいた様子でしたが、今ではすっかり大学生活を満喫しているようです。特に女子会は彼女の最大の楽しみようです。

女子会という言葉が、市民権を得たのは2008年辺りらしいですが、今では仕事を持つ女性の過半数が、月一回以上女子会に参加しているという調査結果もある程の人気とのこと。こうなれば、わが稲門会でも女子会やろう!と早速、昨年初めての女子会を計画しました。年齢も仕事も異なるメンバーが集まりましたが、「杉の子」さんのおいしい料理とワインに舌鼓を打ちながら、いろいろな話で盛り上がった会になりました。(「杉の子」さん本当にありがとうございます!)

女子会の良い点は、女性同士だからこそ分かり合える「本音」の話を思いっきり話せるところであり、おしゃべりでストレス発散が

できる点にあります。

私も仕事柄いつもおじさん(失礼!)たちとの飲み会が多いのですが、今回はおしゃれなかわいい若い女性たちとの会話で、元気をもらい、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

ということ、今年度も女子会を計画するつもりです。是非、仲間を誘って参加してください。宮崎の元気は稲門会の女子会から!の意気込みで!楽しみましょう。

「子育て家族」の応援隊

セントラル住宅有限会社

注文新築住宅 増改築リフォーム
 売買 土地・建物 マンション 収益・事業用
 賃貸 アパート・マンション 貸家・事務所



代表取締役 村社 昭二

〒880-0005 宮崎市南高松町6番23号
 TEL 0985-64-9855 FAX 0985-31-5050



早稲田大学校友会

◆県支部役員会報告

3月26日(土)、宮崎市の「杉の子」に県支部、地域支部、職域支部、レディス稲門会の役員が集合し、校友会県支部役員会が開かれました。4議案が提案され、次のとおり議決されました。

【議案1-県支部総会の件】

県支部総会を7月16日(土)、第16代総長鎌田薫先生の来宮を賜り、宮崎観光ホテルで開催する。

【議案2-役員就任の件】

延岡支部の会長は、谷仲吉氏より飯干喬啓氏に交代。同時に谷仲吉氏が商議員を辞し、後任として日南支部長の河野秀昭氏を選出した。

県庁稲門会の会長は、野田俊雄氏から梅原誠史氏に交代。新たな取組として弁護士稲門会を立ち上げる予定。

【議案3-広報・年会費の件】

個人情報保護に配慮し、県支部校友の名簿の再確認・整理を行い、県支部広報を発行する。通信・運営資金として、校友から年会費2,000円の自主的な徴収をお願いする。

【議案4-ブロック強化策の件】

九州・沖縄ブロックの組織強化を図るために、6月11日(土)に鹿児島市のサンロイヤルホテルで九州山口沖縄ブロック交流会を開催する。同時に親善ゴルフコンペを鹿児島ゴルフリゾートで行い、親睦を深める。

【ゴルフコンペ】

東京六大学ゴルフコンペを4月17日(日)に開催し、大震災義援金壱万円を協賛する。

【女子会】

レディス稲門会を年1回開催し、新会員の募集をする。

【早慶ラグビー】

6月12日(日)、早慶ラグビー親善大会が鹿児島県立鴨池陸上競技場で開かれる。

【義援金】

7月16日(土)開催の県支部総会において、大震災義援金拠出を呼びかける。

【交付補助金】

2011年度校友会組織強化補助金は、基礎補助金112,000円、申請補助金222,000円で合計334,000円。前年度より60,000円増加。

【早大受験者数】

平成23年度の早大受験者数は、全国トップの113,600名。

◆早稲田大学校友会宮崎県支部 2011-2012年度運営方針(案)

支部長(任期:2年間)

1. 校友の親睦・校友会費納入促進
2. 校友間の情報交換の活発化
(広報紙・HP/メールなど)
3. 名簿作成及び連携体制の強化・支部組織の再編成
4. 地域・職域稲門会の充実・女性校友の参加促進
5. 宮崎から全国へ情報発信
6. 早稲田大学から宮崎県への地域貢献

平成23年度事業計画

(2011年6月1日~2012年5月31日)1年間

- ① 定時総会開催・各稲門会の開催
- ② 早稲田大学および校友会本部との連携
- ③ 運動部等の早稲田大学関係の合宿の誘致
- ④ 校友名簿の整理と連絡網の確立・会費納入の促進
- ⑤ 職域稲門会の拡充
- ⑥ 6大学ゴルフコンペ・宮崎三田会との提携事業

宮崎の料理素材で
旬の味を演出いたします

ふるさと料理 杉の子

宮崎市橘通西2-1-4
TEL 0985-22-5798 FAX 27-1526

前田 省子(平成元年 一文)
森 松平(昭和56年 推薦)

● 県支部 ●

支部長 朽木 充嗣

幹事長 森川 護

比嘉 廉太

野崎 義弘

企画幹事 村杜 昭二

ゴルフ幹事 福井 俊郎

会計幹事 蕪 美知保

IT幹事 篠原 俊尚

広報幹事 福田 秀春

事務局長 萩原 宏昭

濱元 秀俊

● 商議員 ●

日高 基秀

河野 秀昭

江夏 拓三

朽木 充嗣

飯干 喬啓

森 松平

神崎 義世

● 代議員 ●

森川 護

市島莊史郎

村杜 昭二

上田 耕市

鈴木 利一

飯干 喬啓

上田 耕市

山澄 弘稔

市島莊史郎

三輪 治夫

鈴木 利一

村杜 昭二

江夏 拓三

原口慎一郎

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

● 日南支部 ●

会長 河野 秀昭

幹事長 豊田 裕康

梅原 誠史

蕪 美知保

穴見 誠

篠原 俊尚

川崎 辰巳

村山 育志

伊地知和憲

松下 信之

山脇 誠

今村 美穂

前田 省子

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

● 職域支部 教職 ●

川崎 辰巳

村山 育志

伊地知和憲

松下 信之

山脇 誠

今村 美穂

前田 省子

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

● 職域支部 宮銀 ●

伊地知和憲

松下 信之

山脇 誠

今村 美穂

前田 省子

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

● レadies稲門会 ●

今村 美穂

前田 省子

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

幹事長

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

代表取締役社長 町川 安久

常務取締役 勝部 一之

取締役 筒井 育夫

読者と共感、
県民と共感

いつの時代もクリエイティブをモットーに
コンピュータシステムの設計、開発、運用に至る
ワンストップサービスでお客様をご支援いたします。



宮崎みんなのポータルサイト「ミテン」

どこでもカルテ

歯科医師向けレセプト・カルテサービス

Day cast

営業支援日報システム「デイキャスト」

たとえば、こんな、サプライズ。



TEL. 0985-56-4111

〒880-0912 宮崎市大字赤江字飛江田224番地

http://www.densan-soft.co.jp/

(支社/東京、福岡、鹿児島、都城、延岡)

代表取締役社長
福井 芳文

福井石油 GROUP

福井石油(株) 宮崎ジェットレンタカー(株)
福井プロパン商事(株) 宮崎GYタイヤ(株)



株式会社 飯干商事

取締役会長 飯干 喬啓

代表取締役社長 飯干 耕成

宮崎県延岡市卸本町 1-30
TEL 0982-32-5411 FAX 0982-32-6211

64th
ANNIVERSARY
2011

確かな技術と信頼で、マンション改修工事を施工いたします。



株式会社 くちき

品質 ISO9001 《安心》 環境 ISO14001

本社:宮崎市大字跡江386-4 国土交通大臣許可(特定)14021号
☎ 0985-47-3585 一級建築士事務所
福岡支店:福岡市博多区浦田2-1-4 (社)日本塗装工業会会員
☎ 092-503-9881 NPO宮崎県マンション管理組合連合会賛助会員



施工例:ル・グラン大塚台 様

くちき

検索

随筆

私の中央沿線物語

大西 雄二



昭和41年の春に文学部に入学のため上京し、以後中央線沿線で過ごした。中野、高円寺、荻窪、阿佐ヶ谷、私には土地勘がある。

ガード脇の赤提灯の焼鳥屋、古書店など雑然とした雰囲気は私の愛する街並みである。付近に神田川が流れていた。フォークソングの「神田川」は私たち全共闘世代の挽歌である。川自体は何の変哲もない小さな都市河川で悪臭がした。

高田馬場で地下鉄に乗り換え登校していた。林英男先輩は昭和16年12月8日高田馬場のホームで「大本営発表、本日未明 帝国陸海軍は西太平洋上にて米英と戦闘状態に入れり」の臨時ニュースを聞いたという。

武蔵野の丘陵地帯の開発が進み、中央線と命名されたのは明治39年。沿線に駅ができたのは大正11年。その翌年が関東大震災。下町の住宅の多くは地震と火災で壊滅し、住民たちは大移動せざるを得なくなった。中央線は、新

興の住宅地であるがゆえに、土地代が安かった。震災以後は不況つづきで、生活は厳しい。中央沿線の街々は、家賃も物価も安い。庶民にとって最適の街となった。

井伏鱒二の『荻窪風土記』によると、そんな事情で貧乏文士たちが集った。中央線文化人たちは、金はなかったが時間はあった。街を散策し、庶民の生活を観察し、文学の修業をした。そのなかには当時太宰治と並び称された宮崎県出身の中村地平もいた。文学青年たちの放埒を、人びとは受け入れ、彼らはやがて一人前の作家に育った。中央線沿線には今でも売れない若い芸術家がこぞって住んでいるという。

私にとっては青春彷徨の季節であった。自分のアイデンティティがどこにあるか分からず、迷いと焦慮の日日であった。

東京のラーメンは、宮崎のラーメンと似て非なるものであったが、何気なく食べていた荻窪駅前のラーメンが数10年後、東京一の折り紙がついて、マスコミに喧伝されたときは、まるで古い級友がスターになった気がしたものだ。

宮崎のような田舎県の出身者が若い頃大都会で生活することが人生にどんな意味があるのか、まだ掴めていない。

作家の宮城谷昌光(早稲田卒)のエッセイに、次のようにある。「東京にいていろいろと考え、苦しんだことが、自分にとって大きかったですね。人間の『見切り』というか、自分がどこを、どういうふう努力すればいいかが、分かった。」

私自身、あの時代を卒業できたのであろうか。今でも中央線の電車に乗ると、一瞬当時に返った気がする。電車のガラス窓に、未知の人生に不安と期待でいっぱいであったあの頃の自分の姿が映る。



あなたに合った保険選びをお手伝い。お気軽にご相談下さい。

Anshin Plaza
安心フラガ

代表取締役 **蛭原 一成**

〒880-0013 宮崎市松橋1-6-12 アドレス <http://anshin-plaza.co.jp/> | 代表 **0985-29-1135**
(宮崎市役所より徒歩5分) | FAX 0985-29-1137



取扱保険種目

- 自動車保険
- 火災保険・地震保険・盗難保険
- 生命保険
- 医療保険
- 自賠責保険
- 賠償保険・PL保険
- ガン保険
- 学資保険
- 傷害保険
- 留學生・駐在員保険
- 年金
- その他
- 旅行保険
- 行事保険

取扱保険会社

- AIU 保険会社
- あいおいニッセイ
- 大同生命
- 東京海上日動火災
- 同和損保
- アフラック
- 富士火災海上
- 損保ジャパン
- 富士生命
- メットライフアロコ
- アイエヌジー生命
- 宮崎県火災共済

会員現況Ⅱ

食文化と霧島酒造の活動

江夏 拓三



寄稿するにあたり、東北地方太平洋沖地震により、被災されました皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。

霧島酒造は、芋焼酎を製造・販売している会社ですが、食文化という大きなカテゴリーの中で活動しており、焼酎はその一部に過ぎないと考えています。なぜなら、「食」べるということは、人間にとってエネルギーを得るために必要不可欠であり、医食同源という言葉に表されるように、食事に注意することが病気を予防する最善の策であるからです。

その「食」に関わるものとして、霧島酒造では味覚に着目してきました。人間は甘味、塩味、旨味、酸味、苦味の基本5味の他、渋味、辛味などを、舌に存在し味

細胞の集まりである味蕾で感じるができます。弊社の商品「黒霧島」を分析したところ、旨味、苦味を

バランスよく感じるとの結果が示され、それがお客様に支持されていると考えています。また、トロっとした甘みとキリっとした後切れの良さが特長の「黒霧島」はどんな料理にも合います。さらに、弊社では「リセット効果」と呼んでおりますが、料理の合間に「黒霧島」を飲むことにより、舌に残る料理の味わいが一度洗い流され、次の料理をおいしく食べることができ

ます。「黒霧島」はまさに食中酒としての役割を果たしています。「将を射んと欲すれば先ず馬を射よ」という故事があるように、焼酎のことだけを考えるのではなく、「食」全体を常に捉えてきた、その積み重ねにより「黒霧島」が誕生したのではないのでしょうか。

近年では、「美味しい」から「しあわせ」へ。をコンセプトに、健麗酒シリーズを展開しています。これは、「黒霧島」と健康素材

を組み合わせることで誕生した商品で、これまでに「冬虫夏草酒 金霧島」を始め、3商品を発売しています。私は、栄養士などの資格を取得しておりませんが、何事にも興味を持って取り組むことで専門外の知識でも吸収することができると考えています。

日本の食文化は、昨今発売されたミシュランガイドからもわかるように、世界に誇ることが出来ます。今後とも、焼酎は日本の食文化を引き立てる脇役であるとの考えのもと、皆様に商品をお届けしてまいります。

県内の弁護士数の増加と 稲門弁護士について

豊田 裕康



平成23年5月1日現在、宮崎県弁護士会に所属する弁護士は98人です。このうち38人が弁護士登録5年未満であり、ここ5年で宮崎県内の弁護士数が1.5倍

以上になったことになりま

す。宮崎県全体で見ると、弁護士一人あたりの人口は約1万2000人となりま

10人(同約2万5000人)となつています。

稲門の弁護士は、私の把握する限りでは、宮崎市(9人)・延岡市(1人)・都城市(1人)・小林市(1人)・日南市(1人)に合計13人

おり(うち6人は弁護士登録5年未満)、宮崎県内各地の住民の方々の法律相談業務を行っております。稲門の弁護士数はここ5年で倍増しましたが、稲門の裁判官・検察官も多く宮崎に赴任されています。弁護士数の増加と共に弁護士への物理的なアクセス障害は解消されつつあります。しかし、心理的なアクセス障害(弁護士は敷居が高い、弁護士に相談していることを人に知られたくない等)の解消には弁護士全体のイメージを変える必要があるため簡単にはいかず、弁護士会において夜間無料電話相談を実施するなど気軽に相談できる体制づくりを始めています。

この5年において登録した弁護士は、宮崎市28人、西都市1人、延岡市2人、日向市1人、都城市3人、小林市1人、日南市2人であり、弁護士過疎と言われていた地域にも弁護士が常駐して法律相談業務にあたるようになりました(日南・日向・小林・西都にはひまわり基金法律事務所、延岡には法テラス事務所が設置)。

校友の皆様も、何か困り事があつた際には、県内各地の稲門弁護士にお気軽にご相談頂けると幸いです。

職域稲門会メッセージ



教職稲門会
川崎 辰巳

昭和五十六年三月、大隈講堂前で卒業式を終え、明け方まで酒を飲んでいた友人達と別れたあの日から約三十年が経過しました。現在は宮崎県教職稲門会の会長をさせていただいています。会員約八十名、懇親会を年一回実施するだけというあまり活動しない組織ですが、集まると楽しくやっています。早稲田を卒業した教職員なら誰でも参加できます。



宮銀稲門会
伊地知 和憲

私達宮銀稲門会は、男性25名、女性4名の合計29名で構成されています。各市町村地区に勤務しておりますので、一堂に会する機会

として年に一回の懇親会を開催しています。微力ですが、今後とも県稲門会の発展に協力させていただきます。よろしくお願いいたします。



県庁稲門会
蕪 美知保

県庁稲門会は、職員5千人中50弱の少数ながら、梅原誠史会長（昭52政）以下いずれも異能揃い。公僕なれど在野精神も連綿と受け継がれています。福留尚仁君（平13法）もその一人。中山間盛上隊駐在員として日之影町に外向。写真は、農村歌舞伎の蘭丸役で奮闘中の一枚。



商議員(前支部長)
蛇原 一成

早稲田力について

今回、広報編集が発足した事を喜んでる一人ですが、是非皆さんの早稲田力により前向きに、元気に情報発信していく事を期待し

ています。

以前からお伝えしている事ですが、宮崎から元氣力を発信する為には、宮崎県人は人が良いという評価を越えて、自分達は今年は、これをやるというような支部の目標があり、それに対して校友の皆さんが参加する事により、支部活動が活性化し輪が広がるのではないのでしょうか。又、その為には早稲田大学の力を使つて、早稲田情報を年1回とか定期行事として宮崎県民に流していく。そのような事を広報編集の発足に際して個人的考えを述べさせていただきます。



宮崎地区会長
鈴木 利一

支部あいさつ

まずは、東日本大震災に

より被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、この度は念願でありました県支部広報の発行おめでとうございます。校友の皆さんとの親睦・活性化を図るため、宮崎県支部からも情報発信してまいります。多くの皆様のご参加をよろしく願います。



延岡支部
上田 耕市

母校早稲田の昨年度は、スポーツ界大躍進の年でした。箱根駅伝総合優勝に涙した校友も多かったはずですが、野球も三十三年ぶりの「日本一」。ひとり占めはいけない、とラグビーでは帝京に優勝カップをもたせてあげましたが、またも剣道で「日本一」、なんとも気分がいい一年でしたね。

早稲田なりやこそ、人生を豊かにする出会いが、時代を超えてここに在る。やっぱ、早稲田がいい！常人はもとより、新人よ、来たれ！



日南支部
河野 秀昭

県南部の日南市（旧日南市・北郷町・南郷町が2年前に合併）と串間市に在住の十人余りの会です。今年の主な仕事は、会員の実態調査をして名簿の整理です。

嘗て多くの青年が、青雲の志を抱いてこの地区を出ていかれました。定年を迎えになった校友が、迷わずお帰りになるようお待ち申し上げております。



県支部幹事長
森川 護

長年の懸案だった「会報」発行が漸く実現できたことを非常に嬉しく思います。しかも国内観測史上最大規模の地震災害に直面し、自然摂理に反しない文明社会のあり方や真に人間らしい生き方が改めて問われ始めています。校友全員の協力で「継続は力なり」を実践していきます。

第49回東京六大学ゴルフコンペ 2連覇

平成23年4月17日、宮崎カントリークラブ青島コースにおいて第49回東京六大学ゴルフ大会が開催され、六大学よりゴルフ愛好家77名が参集し、日ごろ鍛えた腕自慢の技を披露しました。競技に先立ち、受付では大震災義援金が呼びかけられ、参加選手が快く応じていました。

団体戦の成績は、1位早稲田、2位法政、3位慶応、4位明治、5位立教、6位東大。選りすぐりの校友、15名の選手は、他の大学の猛追を許さず、昨年秋に引き続き団体戦2連覇を果たしました。

また、個人戦においては、77名の選手中、1位西村哲治（早稲田）、2位城寛（早稲田）、3位大田邦彦（立教）、4位外山徹（明治）、5位野崎義弘（早稲田）と、個人戦においても西村哲治さんが2連覇を達成し、今年度の校友会の躍進の爪痕をグリーンに刻みました。

グリーンを周り終えた村社昭二選手は、ゴルフの神髄について問われ、こう感想を述べました。

「ゴルフは、思うようにボールをコントロールできない点で人生と同じですね。最初の一打がうまく目標へ飛んで行っても、詰めがねー。実にむつかしい。力を入れるタイミング、バランスが微妙ですな。頭の中では飛距離の弾道を思い浮かべているが、実際には意識と動作の乖離がひどく食い違っているという、いわばそのギャップに頭をひねるという競技のように思いますね。実にむつかしい。その差を埋めるために努力しているんですがねえ…。結果が…」

5月16日（月）、コンペ2連覇の祝勝会が「杉の子」で開かれ、個人戦2連覇の西村校友及び参加校友の健闘を称えあい、明日への闘志を語り、年甲斐もなくエネルギーを放電しました。

次回の第50回記念大会は、本年10月10日（祝）に開催されます。

（参加選手：西村哲治、城寛、野崎義弘、藤崎克朗、福井芳文、富永正一、川添正浩、江夏拓三、村社昭二、四元邦和、原英嗣、松下信之、福井俊郎、鈴木利一、朽木充嗣）



ゴルフコンペ参加校友



2連覇祝勝会 明日への闘志を語った

「ダブルペリアなので連任せではありますが…」

西村 哲治

こんにちは。日本不動産研究所の西村哲治と申します。4月17日に行われた東京六大学ゴルフコンペにて、早稲田大学の2連覇と併せて、運よく個人戦で2連覇を達成いたしました。この4月に福岡転勤となったものの、コンペに参加するため？宮崎出張の仕事を入れた努力が見事に実を結びました。次回のコンペでは3連覇を目指して、また福岡より馳せ参じようと思います。

Coffee Break



先日、次女の結婚の件で、上京。ご両親と面会した。上京の初日、上野のイタリア料理店で学生時代の友人4人と懇親。友人たちは、僕が痛で入院していたことを知らせてあったので、体のことを心配してくれたが、僕の口から健康状態は順調で、時折、異色の神主さんから祈願を受けていること、県支部広報の編集の手伝いすることなどを話した。

ワインが効いてきたのだろうか、某新聞社の友人が「編集後記は勢いで書けばいい。お前は、元気そのもので、まだ背後霊が出ている感じでもない。内面のエネルギー源となっているとしか思えない支離滅裂さも昔のままで。」と紙ナプキンに何かを書きはじめた。

「ああ我は今、宮崎の「早稲田の杜」にあり。卒業して幾星霜。神仏崇敬の靈験著しく、今健康を保ちつつあり。されど、我が肉体、頭脳も衰え青春時代の面影はなし。詩人曰く「明日ありと思えばうれしおぼろ月」。

「右を見よ→後ろを見よ→左を見よ。ご苦労。お前は日和見。真のアホだ。自覚せよ。」の落書きがなつかしい早稲田のトイレ。されど、今や首は廻らなくなり果て、雲古



イタリア料理店でナプキンを広げる学友4人

は落ちぬタイルの上。我思う。我が命、いつまで保てるや、夜の月仰ぎつつ嘆息せり。還暦を迎えし父を案じて、前田良沢の娘に似たる次女曰く。「お父様、お父様私がお迎えに参りました。父上の老後は、私にお任せください。わがまま勝手に前に進まれてはなりません。」

編集後記のことを話したら、勝手にこれで決まり、と書き留めてくれた。(F)